

つるせ西だより



～今の特集～
今年の抱負

第159号(1・2月合併号)2021. 1. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 29



あけましておめでとーございます

コロナウイルスがなかなか終息しない中で新しい年を迎えました。鶴瀬西交流センターで毎月行われている「パソコン相談室」は、密を避けるため、ホールに20人という定員を設けて行われていました。11月に伺ったときは年賀状作りに挑戦されていました。

我が家の年賀状は、木版画で、プリントゴッコで、パソコンで、印刷屋さんをお願いしてと、変遷してきましたが、今も宛名書きはパソコンのお世話になっています。

年賀状の歴史は古く、平安時代の手紙文例集「庭訓往来」にさかのぼるとか。春の始めの御悦び、貴方に向かってます祝い申し候

一人ひとりを思う温かな気持ち伝わってきます。人と会うことの難しいとき、年賀状を通して温かいあいさつを交わりたいと思います。

撮影・文 / 西角編集委員

年賀状画像提供 / つるせ西PCクラブ



まちかどウォッチング

ウィズコロナで
がんばろう

ここ数か月多くの方が新型コロナウイルス感染症予防のため、イベントの中止や飲食を伴うサロン・会合の中止で、自粛生活を強いられています。



しかし、コロナ禍は収まる様子はなく、また特效薬がすぐできるものではないですが、インフルエンザワクチンと同じように接種しても抗体が半年もたないのではないかと思います。

そんな中感染予防対策をしながら活動再開をはじめたサークルやイベントもあります。これからしばらくはウィズコロナという事で、徹底した感染予防をしながら事業をしていく時期になっているようです。

9月から再開した「唄とおはなしのサロン」に参加しましたが、回を重ねるごとに参加者が増えていました。皆さん家でじっとしてばかりではいられなくなっているのでしょう。(佐原)